



2009/12/19 平成21年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会

# Match Result



試合番号 **210**

## A 試合会場レポート

■会場 東京体育館(東京都渋谷区) 試合開始: 19:35 試合時間 1:25  
 観客数 3,000 主審: 大塚 達也 副審: 澤 達大



パナソニック パンサーズ

■監督 : 南部 正司  
 ■コーチ: 古田 博幸

■第1セット出場メンバー

11 夕アレス	1 清水	6 白澤
		8 (川村)
13 忝田	2 宇佐美	15 福澤

( )内は交代選手  
 ■リベロ: 17 永野 健

得点	セット時間	得点
26	1set(28')	24
25	2set(25')	21
25	3set(26')	22



堺ブレイザーズ

■監督 : 酒井 新悟  
 ■コーチ: 増村 雅尚

■第1セット出場メンバー

3 石島	7 エンダキ	1 松本
15 伊藤	8 金井	4 北島
10 (木内)	16 (西尾)	

( )内は交代選手  
 ■リベロ: 2 井上 裕介

76	<b>Total</b>	67
3	セット数	0

■Match Comment

Vリーグを現在全勝で勝ち進んでいるパナソニックパンサーズに対し、この大会セットを落とさず勝ち進んできた堺ブレイザーズの試合。

堺の石島、エンダキが右に左にと打ち込んでくると、パナソニックは清水、福澤のサーブ、スパイクと切り込んでくる。また、宇佐美のトスワークも冴えた。堺の応援席では黄色いメガホンが打たれ、またパナソニックの応援団ではブルーのスティックバルーンが揺れ、大声援である。試合は予断を許さない状況が常に続いた。しかし、要所要所を締めたパナソニックは数点のリードを守りきり、セットを落とすことなくこの試合に勝利した。

■Coach Comment: 南部 正司 (パナソニック パンサーズ)

大事な所でミスが出て、まだまだ修正するところがあったが、それでも勝利に結び付けられた事は良かった。

試合(大会)を通して徐々にではあるがチームがまとまってきたのも実感できた。

明日はチーム全員の力を終結して試合に挑みます。

■Coach Comment: 酒井 新悟 (堺ブレイザーズ)

各セットとも中盤までは競り合うものの、後半のサイドアウトの場面での連続失点、トランジョンジの被ブロックと1点が抜け出せなかった。

今日の反省点を生かし、次回の対戦に臨みたい。

■作成者: 柴田 等

※ 本票の著作権は財団法人日本バレーボール協会に帰属します。